

【表紙】

| | |
|------------|----------------------------------|
| 【提出書類】 | 四半期報告書 |
| 【根拠条文】 | 金融商品取引法第24条の4の7第1項 |
| 【提出先】 | 東北財務局長 |
| 【提出日】 | 平成28年7月8日 |
| 【四半期会計期間】 | 第57期第3四半期（自平成28年3月1日至平成28年5月31日） |
| 【会社名】 | ミクロン精密株式会社 |
| 【英訳名】 | MICRON MACHINERY CO., LTD. |
| 【代表者の役職氏名】 | 代表取締役社長 榊原 憲二 |
| 【本店の所在の場所】 | 山形県山形市蔵王上野578番地の2 |
| 【電話番号】 | 023(688)8111 |
| 【事務連絡者氏名】 | 取締役管理本部長 遠藤 正明 |
| 【最寄りの連絡場所】 | 山形県山形市蔵王上野578番地の2 |
| 【電話番号】 | 023(688)8111 |
| 【事務連絡者氏名】 | 取締役管理本部長 遠藤 正明 |
| 【縦覧に供する場所】 | 株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号) |

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

| 回次 | 第56期 第3四半期連結 累計期間 | 第57期 第3四半期連結 累計期間 | 第56期 |
|------------------------------|---------------------------|---------------------------|---------------------------|
| 会計期間 | 自平成26年9月1日 至平成27年5月31日 | 自平成27年9月1日 至平成28年5月31日 | 自平成26年9月1日 至平成27年8月31日 |
| 売上高 (千円) | 4,850,000 | 5,076,916 | 6,891,070 |
| 経常利益 (千円) | 1,600,096 | 1,037,096 | 2,114,961 |
| 親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益 (千円) | 1,037,566 | 694,664 | 1,388,799 |
| 四半期包括利益又は包括利益 (千円) | 1,353,363 | 462,736 | 1,580,127 |
| 純資産額 (千円) | 8,983,267 | 9,525,148 | 9,210,032 |
| 総資産額 (千円) | 11,099,299 | 11,950,613 | 11,324,486 |
| 1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円) | 485.84 | 328.46 | 651.73 |
| 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円) | - | - | - |
| 自己資本比率 (%) | 80.6 | 79.5 | 81.1 |

| 回次 | 第56期 第3四半期連結 会計期間 | 第57期 第3四半期連結 会計期間 |
|-------------------|---------------------------|---------------------------|
| 会計期間 | 自平成27年3月1日 至平成27年5月31日 | 自平成28年3月1日 至平成28年5月31日 |
| 1株当たり四半期純利益金額 (円) | 126.39 | 162.95 |

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
4. 「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)等を適用し、第1四半期連結累計期間より、「四半期(当期)純利益」を「親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益」としております。

2【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、又は、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定、又は、締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1)業績の状況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策等により、緩やかな回復基調であるものの、物価の上昇や株価の下落・為替の変動を受け、個人消費の回復や設備投資は足踏み状態で推移いたしました。また、海外経済の下振れリスクにより、先行き不透明な状況下にあります。

当工作機械業界におきましても、内需、外需とも受注は前年同期比でやや下回る等、踊り場状態で推移いたしました。

このような経営環境の中におきまして、当社グループ（当社及び連結子会社）は、積極的な販売展開の強化を図るとともに、市場及びお客様の期待に合致した製品づくりの追求を行いながら、全社的なコスト削減の実施に取り組んでまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高につきましては、5,076百万円（前年同四半期比4.7%増）となりました。利益につきましては、営業利益で1,066百万円（同8.0%減）、経常利益で1,037百万円（同35.2%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益では694百万円（同33.0%減）となりました。

なお、当社グループの事業は、研削盤の製造及び販売を事業内容とする単一セグメントであります。

(2)財政状態の分析

(流動資産)

当第3四半期連結会計期間末の流動資産は、前連結会計年度末に比べて4百万円減少し、5,635百万円となりました。これは主に、受取手形及び売掛金が166百万円増加したものの、有価証券が217百万円減少したことによるものであります。

(固定資産)

当第3四半期連結会計期間末の固定資産は、前連結会計年度末に比べて630百万円増加し、6,314百万円となりました。これは主に、建設仮勘定が440百万円、投資有価証券が389百万円それぞれ減少したものの、建物及び構築物が1,225百万円増加したことによるものであります。

(流動負債)

当第3四半期連結会計期間末の流動負債は、前連結会計年度末に比べて356百万円増加し、2,317百万円となりました。これは主に、未払法人税等が500百万円、前受金が219百万円それぞれ減少したものの、短期借入金が1,074百万円増加したことによるものであります。

(固定負債)

当第3四半期連結会計期間末の固定負債は、前連結会計年度末に比べて45百万円減少し、107百万円となりました。これは主に、繰延税金負債が37百万円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べて315百万円増加し、9,525百万円となりました。これは主に、その他有価証券評価差額金が151百万円減少したものの、利益剰余金が557百万円増加したことによるものであります。

(3)事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(4)研究開発活動

当第3四半期連結累計期間におけるグループ全体の研究開発活動の金額は、97百万円であります。

なお、当第3四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

(5)主要な設備

前連結会計年度末において計画しておりましたみはらし工場の新設は、平成28年3月に完了しております。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

| 種類 | 発行可能株式総数(株) |
|------|-------------|
| 普通株式 | 9,000,000 |
| 計 | 9,000,000 |

【発行済株式】

| 種類 | 第3四半期会計期間末現在発行数(株) (平成28年5月31日) | 提出日現在発行数(株) (平成28年7月8日) | 上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名 | 内容 |
|------|------------------------------------|----------------------------|------------------------------------|-----------|
| 普通株式 | 2,568,700 | 2,568,700 | 東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード) | 単元株式数100株 |
| 計 | 2,568,700 | 2,568,700 | - | - |

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

| 年月日 | 発行済株式総 数増減数 (株) | 発行済株式総 数残高(株) | 資本金増減額 (千円) | 資本金残高 (千円) | 資本準備金増 減額(千円) | 資本準備金残 高(千円) |
|--------------------------|-----------------------|------------------|----------------|---------------|------------------|-----------------|
| 平成28年3月1日～ 平成28年5月31日 | - | 2,568,700 | - | 651,370 | - | 586,750 |

(6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成28年2月29日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成28年5月31日現在

| 区分 | 株式数(株) | 議決権の数(個) | 内容 |
|----------------|----------------|----------|----|
| 無議決権株式 | - | - | - |
| 議決権制限株式(自己株式等) | - | - | - |
| 議決権制限株式(その他) | - | - | - |
| 完全議決権株式(自己株式等) | 普通株式 453,800 | - | - |
| 完全議決権株式(その他) | 普通株式 2,114,000 | 21,140 | - |
| 単元未満株式 | 普通株式 900 | - | - |
| 発行済株式総数 | 2,568,700 | - | - |
| 総株主の議決権 | - | 21,140 | - |

【自己株式等】

平成28年5月31日現在

| 所有者の氏名 又は名称 | 所有者の住所 | 自己名義所有株式数(株) | 他人名義所有株式数(株) | 所有株式数の合計(株) | 発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%) |
|----------------|-----------------------|--------------|--------------|-------------|------------------------|
| ミクロン精密株式会社 | 山形県山形市蔵王 上野578番地の2 | 453,800 | - | 453,800 | 17.67 |
| 計 | - | 453,800 | - | 453,800 | 17.67 |

(注) 当第3四半期会計期間末日現在の自己名義所有株式数は456,542株であります。

2 【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期累計期間における役員の異動は、次のとおりであります。

役職の異動

| 新役名 | 新職名 | 旧役名 | 旧職名 | 氏名 | 異動年月日 |
|-----|----------------------------|-----|--------------------|---------|------------|
| 取締役 | 調達本部長 兼 調達部長 | 取締役 | 設計部長 兼 調達部長 | 榊原 誠 | 平成27年12月1日 |
| 取締役 | 技術本部長 兼 技術部長 兼 新事業開発部長 | 取締役 | 技術部長 | 寒河江 茂兵衛 | 平成27年12月1日 |
| 取締役 | 生産本部長 兼 設計部長 兼 機械再生事業部長 | 取締役 | 製造部長 兼 機械再生事業部長 | 吉野 靖 | 平成27年12月1日 |
| 取締役 | 営業本部長 兼 営業部長 | 取締役 | 営業部長 | 善本 淳一 | 平成27年12月1日 |
| 取締役 | 管理本部長 兼 管理部長 | 取締役 | 管理部長 | 遠藤 正明 | 平成27年12月1日 |

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間（平成28年3月1日から平成28年5月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成27年9月1日から平成28年5月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について、新日本有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成27年8月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (平成28年5月31日) |
|-----------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 964,914 | 781,136 |
| 受取手形及び売掛金 | 1,835,078 | 2,001,324 |
| 有価証券 | 1,001,004 | 783,667 |
| 半製品 | 229,800 | 254,022 |
| 仕掛品 | 1,256,933 | 1,357,818 |
| 原材料及び貯蔵品 | 209,776 | 205,019 |
| 繰延税金資産 | 87,387 | 81,125 |
| その他 | 56,125 | 172,962 |
| 貸倒引当金 | 890 | 1,080 |
| 流動資産合計 | 5,640,130 | 5,635,995 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物(純額) | 1,036,848 | 2,262,735 |
| 機械装置及び運搬具(純額) | 338,334 | 571,774 |
| 土地 | 735,782 | 734,588 |
| 建設仮勘定 | 535,606 | 95,464 |
| その他(純額) | 68,436 | 69,468 |
| 有形固定資産合計 | 2,715,009 | 3,734,031 |
| 無形固定資産 | | |
| 無形固定資産 | 10,123 | 9,269 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 2,883,525 | 2,493,949 |
| その他 | 75,978 | 77,647 |
| 貸倒引当金 | 280 | 280 |
| 投資その他の資産合計 | 2,959,223 | 2,571,315 |
| 固定資産合計 | 5,684,356 | 6,314,617 |
| 資産合計 | 11,324,486 | 11,950,613 |

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成27年8月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (平成28年5月31日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 208,407 | 223,869 |
| 短期借入金 | 421,980 | 1,496,363 |
| 未払法人税等 | 515,485 | 15,097 |
| 賞与引当金 | 103,668 | 181,002 |
| 役員賞与引当金 | 8,250 | - |
| 製品保証引当金 | 17,000 | 38,472 |
| 未払金 | 198,795 | 204,749 |
| 前受金 | 328,989 | 109,099 |
| その他 | 158,856 | 49,050 |
| 流動負債合計 | 1,961,433 | 2,317,706 |
| 固定負債 | | |
| 繰延税金負債 | 108,088 | 70,271 |
| 退職給付に係る負債 | 24,362 | 16,917 |
| 長期未払金 | 20,570 | 20,570 |
| 固定負債合計 | 153,021 | 107,759 |
| 負債合計 | 2,114,454 | 2,425,465 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 651,370 | 651,370 |
| 資本剰余金 | 586,750 | 586,750 |
| 利益剰余金 | 8,394,263 | 8,951,423 |
| 自己株式 | 1,001,473 | 1,011,589 |
| 株主資本合計 | 8,630,909 | 9,177,953 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 522,582 | 370,904 |
| 為替換算調整勘定 | 25,833 | 47,378 |
| その他の包括利益累計額合計 | 548,416 | 323,525 |
| 非支配株主持分 | 30,706 | 23,668 |
| 純資産合計 | 9,210,032 | 9,525,148 |
| 負債純資産合計 | 11,324,486 | 11,950,613 |

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自平成26年9月1日 至平成27年5月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自平成27年9月1日 至平成28年5月31日) |
|---------------------------------------|---|---|
| 売上高 | 4,850,000 | 5,076,916 |
| 売上原価 | 2,884,473 | 3,075,407 |
| 売上総利益 | 1,965,527 | 2,001,509 |
| 販売費及び一般管理費 | 806,451 | 935,351 |
| 営業利益 | 1,159,076 | 1,066,157 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 49,551 | 37,317 |
| 受取配当金 | 10,180 | 17,531 |
| 補助金収入 | 4,087 | 9,953 |
| 投資有価証券償還益 | 12,081 | 7,377 |
| 投資有価証券評価益 | 107,074 | - |
| 為替差益 | 236,184 | - |
| 受取家賃 | 7,090 | 6,659 |
| その他 | 16,152 | 8,372 |
| 営業外収益合計 | 442,404 | 87,211 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 1,315 | 929 |
| 投資有価証券評価損 | - | 42,001 |
| 為替差損 | - | 73,190 |
| その他 | 68 | 152 |
| 営業外費用合計 | 1,383 | 116,273 |
| 経常利益 | 1,600,096 | 1,037,096 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 174 | 1,106 |
| 特別利益合計 | 174 | 1,106 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除却損 | 3,074 | 1,729 |
| 特別損失合計 | 3,074 | 1,729 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 1,597,196 | 1,036,472 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 603,959 | 337,090 |
| 法人税等調整額 | 45,959 | 8,845 |
| 法人税等合計 | 558,000 | 345,935 |
| 四半期純利益 | 1,039,196 | 690,536 |
| 非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失() | 1,629 | 4,128 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 1,037,566 | 694,664 |

【四半期連結包括利益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自平成26年9月1日 至平成27年5月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自平成27年9月1日 至平成28年5月31日) |
|-----------------|---|---|
| 四半期純利益 | 1,039,196 | 690,536 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 175,637 | 151,678 |
| 為替換算調整勘定 | 138,529 | 76,122 |
| その他の包括利益合計 | 314,166 | 227,800 |
| 四半期包括利益 | 1,353,363 | 462,736 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 1,347,945 | 469,774 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | 5,417 | 7,038 |

【注記事項】

(会計方針の変更)

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、 「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58 - 2項(4)、連結会計基準第44 - 5項(4)及び事業分離等会計基準第57 - 4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

これによる損益に与える影響はありません。

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を当第3四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

これによる損益に与える影響は軽微であります。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

| | 前第3四半期連結累計期間 (自 平成26年9月1日 至 平成27年5月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自 平成27年9月1日 至 平成28年5月31日) |
|-------|---|---|
| 減価償却費 | 180,580千円 | 213,841千円 |

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自 平成26年9月1日 至 平成27年5月31日)

1. 配当金支払額

| (決議) | 株式の種類 | 配当金の総額 (千円) | 1株当たり配当額 (円) | 基準日 | 効力発生日 | 配当の原資 |
|-----------------------|-------|----------------|-----------------|------------|-------------|-------|
| 平成26年11月21日 定時株主総会 | 普通株式 | 81,651 | 38.00 | 平成26年8月31日 | 平成26年11月25日 | 利益剰余金 |

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間末日後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の金額の著しい変動

当社は、平成26年5月15日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読替えて適用される同法第156条の規定に基づき、東京証券取引所JASDAQ(スタンダード)における市場買付けの方法により自己株式を取得することを決議し33,200株を取得いたしました。この結果、当第3四半期連結累計期間において、単元未満株式の買取りと併せて自己株式が128,462千円増加しております。

当第3四半期連結累計期間（自平成27年9月1日 至平成28年5月31日）

1. 配当金支払額

| （決議） | 株式の種類 | 配当金の総額 （千円） | 1株当たり 配当額 （円） | 基準日 | 効力発生日 | 配当の原資 |
|-----------------------|-------|----------------|---------------------|------------|-------------|-------|
| 平成27年11月20日 定時株主総会 | 普通株式 | 137,504 | 65.00 | 平成27年8月31日 | 平成27年11月24日 | 利益剰余金 |

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間末日後となるもの
 該当事項はありません。

3. 株主資本の金額の著しい変動
 該当事項はありません。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

当社グループは、研削盤の製造及び販売を事業内容とする単一事業区分であるため、記載を省略しております。

（1株当たり情報）

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

| | 前第3四半期連結累計期間 （自平成26年9月1日 至平成27年5月31日） | 当第3四半期連結累計期間 （自平成27年9月1日 至平成28年5月31日） |
|-----------------------------------|---|---|
| 1株当たり四半期純利益金額 | 485円84銭 | 328円46銭 |
| （算定上の基礎） | | |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益金額 （千円） | 1,037,566 | 694,664 |
| 普通株主に帰属しない金額（千円） | - | - |
| 普通株式に係る親会社株主に帰属する四半期 純利益金額（千円） | 1,037,566 | 694,664 |
| 普通株式の期中平均株式数（千株） | 2,135 | 2,114 |

（注）潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

（重要な後発事象）

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成28年7月8日

ミクロン精密株式会社

取締役会 御中

新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 高 嶋 清 彦 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 鈴 木 和 郎 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているミクロン精密株式会社の平成27年9月1日から平成28年8月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（平成28年3月1日から平成28年5月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成27年9月1日から平成28年5月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、ミクロン精密株式会社及び連結子会社の平成28年5月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. X B R L データは四半期レビューの対象には含まれていません。